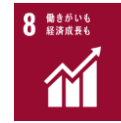


令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

| | | | | | |
|------|-------------|-----|-------------------|-----|---------------|
| 学校番号 | 69-2, 235-2 | 学校名 | 仙台市立人來田小・中学校旗立分教室 | 校長名 | 福田 理枝 ・ 鈴木 裕太 |
|------|-------------|-----|-------------------|-----|---------------|

1 取組のタイトル, テーマ

学童農園を利用した食育体験と地域貢献



2 取組の紹介

旗立分教室は、宮城県さわらび学園の施設内にある学校です。さわらび学園と連携して、様々な取組を行いました。

生ゴミからの堆肥づくり

SDGsの「つくる責任・つかう責任」の目標を視野に入れ、寮の食事が出た生ゴミを溜めてコンポストにしました。食料廃棄物はゴミではなく、堆肥として活用しています。



落ち葉や雑草からの堆肥づくり

学園の環境整備作業等で集めた落ち葉や雑草を堆肥をつくりました。



学園の畑を利用した野菜づくり

生ゴミや落ち葉等で作った堆肥を利用し、学園の畑で野菜を育てました。今年は、ミニトマト、ピーマン、しそ、小玉スイカなどを育て、収穫して味わいました。



田の除草作業と収穫祭の実施

田の除草作業に取り組みました。活動を通して働くことや奉仕する喜びについて学びました。

学童農園で育てたお米を自分たちで収穫し、炊飯の実践や、玄米と白米の食べ比べをしました。米作りのやりがいや大変さについて学ぶことができました。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

- ゴミを分別して工夫することで、再利用して役立たせることができることを学びました。
- 地域に貢献する活動を行い、自己有用感や働くことの喜びを感じることができました。
- 自分たちで作ったお米を食べることで、米作りのやりがいや大変さを学ぶことができました。